



リンリン(左)とケイタ

2020年7月14日、大森山動物園では13年ぶりとなるキリンの赤ちゃんが誕生しました。母親のリンリンは15歳と高齢で、これまで国内では高齢での初産は数例しかありません。今回、獣医師とキリン担当者が力を合わせた繁殖への取り組みをお伝えします。

発情が来ないリンリン

キリンは、およそ2週間ごとのメスの発情でオスと交尾し、妊娠・出産へと至ります。リンリンは大森山動物園に来た2008年時点で発情がなく、オスのカンタとの交尾は見られませんでした。

2011年、キリンの健康管理のために行っていたハズバンダリートレーニングの成果で、無麻酔下での採血に初めて成功し、血液状態を定期的に確認することが可能となりました。私たちは血液の成分中で、繁殖に影響するミネラルの一種、銅の値に注目しました。リンリンの血液は銅が低い値を示していたため、これを改善することで繁殖につながる可能性があると考え、2016年から餌に銅を添加して数値を維持することにしました。



リンリンからの採血

発情から交尾、妊娠

銅の添加を開始して2年後の2018年11月、カンタが激しくリンリンを追う行動(以下、追尾)を確認しました。また、日頃から検査を依頼している岐阜大学から、血液の性ホルモン値が周期的な発情を示しているとの報告もあり、リンリンが正常に発情していることが分かりました。この時点で、リンリンは13歳を過ぎていました。

2019年4月12日、これまでリンリンは発情が起こってもカンタの追尾から逃げるだけでしたが、その日の夕方、一度だけ交尾を確認しました。交尾を確認した後は、あれだけ待ち望んでいた発情がこないことを祈る日々でした。そして、6月8日、ついに岐阜大学から妊娠している可能性が高いという検査結果が届きました。たった一度の交尾での妊娠となったのです。キリンの妊娠期間であるおよそ15カ月間、これまで経験の無いキリンの高齢出産の準備に追われることになりました。

出産前に準備したこと

赤ちゃんが無事に産まれてくるために、リンリンが走って転倒することがないように、観察を徹底しました。悪天候時には速やかに収容するなど、リンリンに事故が起らないよう、また、余計なストレスを与えないように細心の注意を払いました。

リンリンは15歳という高齢の出産で、様々な問題が考えられたため、獣医師とキリン担当で対策会議を重ねました。日本では15歳以上の初産で子どもが30日以上成育した例はなく、難産で母子ともに死亡する可能性もあったため、獣医師は出産介助の成功例や失敗例、介助しても出て来なかった場合の麻酔方法も調べました。キリンに麻酔をかけることはとても難しい事で、国内の動物園や獣医大学のほか、アメリカの獣医麻酔専門医や動物園から集めた資料を基に麻酔のシミュレーションや道具の作成なども行いました。

また、リンリンが高齢のため産後母乳が出ない場合、授乳は担当者が行うと決め、他園から人工哺育に関するデータをもらい臨みました。



準備作成した呼吸管理のための挿管セット

出産当日と人工哺育の開始

出産予定日から1週間が過ぎた7月13日の夜、休む時間になってもリンリンは座らず、いつもと違う行動が見られたため、夜を徹した観察を行いました。リンリンは時間を追うごとに落ち着きがなくなって陣痛が始まり、翌14日の朝7時に破水を確認しました。それ以降は順調に経過し、約2時間後に無事出産しました。心配していた難産にはならず、リスクの大きい麻酔や出産介助は出番がなくなり安堵しました。

安心したのも束の間、出産後30分で赤ちゃんは自力で立ち上がりましたが、リンリンは赤ちゃんに無関心なばかりか、赤ちゃんが近づくと地面を蹴るような行動を見せました。このままでは赤ちゃんが危ないと考え、母子を分けて人工哺育することにしました。赤ちゃんの体を拭き、体重測定をした後、大切な初乳成分が含まれた粉ミルクを試行錯誤しながら与えましたが、思ったように飲んでくれません。次の日も同じ状況なら別の方法を考えなければと思いましたが、翌朝からグイグイ飲み始め、不安だった私たちを安心させてくれました。



出産直前(7月14日)



自力で立ちあがったケイタ
(身長175cm、体重52kg)

これから

赤ちゃんの愛称は公募で「ケイタ(恵太)」に決まりました。ケイタの成育は順調で、12月12日には体重が210kgと生まれた時の約4倍、頭までの高さは約260cmとなり、体つきもがっしりしてきています。また、1月現在、1日1回のミルクの他は、大人のキリンと同じものを食べています。

最近リンリンとの同居訓練を進めており、2頭の距離は徐々に近づいています。春の通常開園時には一緒に展示できるよう、これからも大切に育てていきたいと思えます。ケイタが成長していく様子をあたたかく見守って下さい。



授乳の様子(7月20日)



授乳の様子(1月14日)